

つるせ西だより



～今月の特集～
西地域をより住みやすい街にするには

第190号(3月号)2024. 3. 1

編集:鶴瀬西交流センターだより編集委員会

発行:富士見市立 鶴瀬西交流センター

〒354-0021 富士見市大字鶴馬3575-1 TEL:049-251-2791 FAX:049-255-9707

地域の百景 **60**

霊峰

富士を仰ぐ



2024年1月 鶴瀬駅ビルから富士山を望む（現在の鶴瀬駅西側の風景です）



1959年 鶴瀬駅から富士山を望む

十年ひと昔と言われますが、今回の地域の百景は、現在の富士山と、鶴瀬駅ホーム付近から仰ぐ60数年前の風景を比較して大きな違いをご覧いただきたいと思えます。富士見市という都市名からも毎朝、どこからでも富士のお山を仰ぐことができたのだと思います。

現在では、さまざまな建築物、鉄塔などで、高層階の限られた場所からでなくては、きれいな富士山を見ることができなくなりましたが、いつまでも富士の山を身近な存在として感じていたいものです。

(撮影・文/萩原編集委員)